



かわかみさだひろ

河上定弘

鳥取県議会議員

県議会だより

「架け橋」

第5号  
2025.4

河上定弘事務所

〒683-0802 米子市東福原4-20-7 生田ビル303  
TEL:0859-36-8522 FAX:0859-36-8533



<https://www.kawakami475.com>



[info@475kawakami.com](mailto:info@475kawakami.com)

ごあいさつ

河上定弘の県議会議員活動に、常日頃よりご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

春の日差しが心地よい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。年度が変わり新しい生活を迎えられる方も多くおられると思います。皆様の日々が晴れやかでありますようお願い申し上げます。

さて、直近の議会では、防災減災の取り組みや、防災庁の拠点を鳥取県に誘致する件について、また、児童・生徒の不登校対策における県との取り組み、市町村の連携強化、フリースクールを活用した移住定住の可能性についても平井知事や足羽教育長と議論しました。

次代を担う子どもたちが安心して教育を受けられる環境を整えるとともに、全ての県民の皆様の安全な暮らしの実現のため、引き続き、真摯に取り組んでまいりますので、今後とも、私の県議会議員活動にご指導・ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

令和七年四月

鳥取県議会議員

河上定弘



## 委員会・政務活動

令和7年

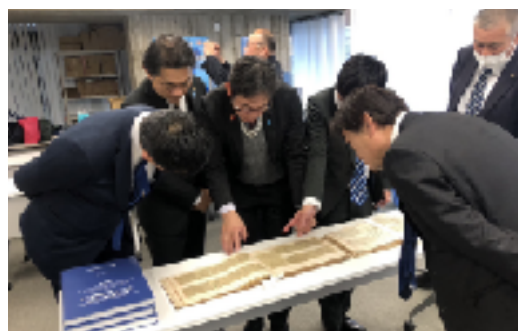
- 1月 6日 米子市新年のつどい
- 10日 あいサポートフォーラム
- 11日 鳥取県西部歯科医師会新年祝賀会
- 12日 米子市消防出初式
- 16日 美保基地賀詞交歓会
- 18日 よなご日野郡人会新春講演会
- 18日 鳥取県薬剤師会西部支部新年祝賀会
- 23日 鳥取県議会福祉生活病院常任委員会
- 27日 鳥取県議会農業振興議員連盟とJAグループ鳥取による意見交換会
- 28日 鳥取県経済同友会西部地区新年例会
- 29日 皆生通事業振興会新年祝賀会
- 2月 8日 鳥取県選出国會議員 新春の集い
- 8日 とっとり産業未来フェス
- 22日 竹島の日記念式典
- 28日 米子松蔭高等学校卒業証書授与式
- 3月 5日 商工会地域活性化議員連盟及び自転車活用推進議員連盟合同勉強会
- 17日 鳥取県議会タスクフォース意見書提出
- 18日 鳥取県議会私学振興議員連盟勉強会
- 19日 ラーメンから食文化の伝承と食料安全保障の確立を考え地域の活性化と地方創生を目指す鳥取県議会議員連盟の勉強会
- 21日 北朝鮮拉致問題早期解決促進鳥取県議会議員連盟勉強会
- 21日 鳥取県議会看護問題対策研究議員連盟勉強会
- 22日 鳥取県議会防衛議員連盟勉強会
- 25日 米川土地改良区通常総代会
- 28日 鳥取県立美術館開館記念式典
- 31日 米子市功労者・善行者表彰式



鳥取県議会タスクフォース意見書提出



石破内閣総理大臣と



「竹島の日」記念式典にて



鳥取県立美術館開館記念式典にて

## ■防災・減災の取り組みについて

〈防災庁の新設について〉

**質問** 知事は、防災省のような組織の立上げに関して、政府に提言してきたと承知しているが、防災庁の新設に関してどうお考えなのか改めて問う。

**知事答弁** 地方団体の共通の思いとして全国知事会議で訴えてきたように、発災時から復旧・復興に至るまで一貫して国が後見役になるという意味で、大規模災害に備えて防災省のような国としての組織が必要。

〈防災庁の拠点を鳥取県に〉

**質問** 鳥取県は、国難レベルの巨大災害のリスクが低く、また南海トラフ巨大地震などの大規模災害時の復旧・復興に向けて果たせる役割が大きい地域であり、防災・減災や災害時対応など全国でトップを走る取組を行っていることから、鳥取県に防災庁の新設にかかる拠点を置くことは理に適っている。国への働きかけの活動を展開することを期待するが、どうか？

**知事答弁** 防災庁の最終的な地方分局がどうなるかも見据えながら、国の防災上の支援拠点としての準備を進めていきたい。

## ■不登校対策の取り組みについて

〈不登校児童生徒への対策について〉

**質問** 不登校児童生徒数が小学校、中学校では11年連続増加している現状をどう認識し、令和7年度以降どう対応するのか教育長に問う。

## ■教育長答弁

低年齢からの対応も重要。子供たちの居場所づくりのため、小学校にもサポート教室を設置したい。また、専門的な視点から、スクールカウンセラーの滞在時間を増やすための予算確保に努めたい。

〈フリースクールの重要性について〉

**質問** 年々増加している不登校対策として、今後は、民間が運営する「フリースクール」の果たすべき役割が、より重要になると考えられるがどうか？

**知事答弁** 学校教育の場面以外で、学校と同様に子供の居場所や学び・成長の場となるフリースクールをサポートしていきたい。

〈フリースクールへの理解促進に向けて〉

**質問** 県認可のフリースクールにおいては、学校と併用して登校することができ、学校の出席扱いになるなどの仕組みについて、広く理解や認知が進むように取り組むことが必要だと考えるがどうか？

**教育長答弁** フリースクールの情報提供が十分でないという課題認識を持っている。どのタイミングで、どう本人、保護者に伝えるかセンシティブな部分もあるが、信頼関係をしっかりと構築した上で、丁寧に周知することを行っていききたい。

〈フリースクールの質を高めていくための取組〉

**質問** 県内の認定フリースクールが昨年度の7施設から10施設まで拡大している中で、これからは、発達障がいのある児童生徒などに個別に向き合う必要が生じるなど、対応が複雑化することも懸念される。質を確保していくための対策も重要では？

**知事答弁** 新年度予算において、質の向上に向けての予算を計上し、よりきめ細やかな学

び、あるいは居場所づくりになるように、県としての施策を二段進めていきたい。

〈不登校対策に対する市町村の助成制度について〉

**質問** 不登校児童生徒が、フリースクールや教育支援センターなどに通所する場合の授業料や交通費の助成制度について、学びの機会の提供や、生徒、保護者の選択肢を増やすという意味で、全市町村で助成制度が活用できるようにすべきと考えるがどうか？

**知事答弁** 助成制度が活用できない基礎自治体もあるので、県内どこに住んでいても助成を受けながら子供たちが通うことができるよう進めていきたい。

〈不登校対策に対する市町村との連携について〉

**質問** 教育委員会、教育支援センターとフリースクールが、不登校児童生徒の学習の連続性を保つために、連携してお互いに補完できるように、定期的な意見交換や情報交換の場を設けてはどうか？

**教育長答弁** 関係機関との連携は必要不可欠。協議会を立ち上げているが、新年度に向けて、より三者の連携が図れるように内容を充実させていきたい。

〈移住・定住政策に向けて〉

**質問** 不登校対策事業の更なる充実とともに、家族のためのワーケーション環境を整備し、空き家を活用した住環境を用意するなど、総合的な視点で連続性のある施策により、県外の不登校の子どもたちとその家族が鳥取県で安心して学び、暮らせるという環境づくりは、移住・定住へ繋がる取組でもあると考えるがどうか？

**知事答弁** フリースクールをはじめとした子供たちの幸せ、居場所に着目した地域おこしの可能性を県内で探っていききたい。

## 現職

鳥取県議会議員  
鳥取県議会／福祉生活病院常任委員会 副委員長  
会派／鳥取県議会自由民主党 副政務調査会長  
自由民主党鳥取県支部連合会 青年局幹事長

## プロフィール

昭和49年7月23日、日野郡江府町生まれ  
江尾小学校、江府中学校、米子東高等学校 卒業  
法政大学工学部土木工学科 卒業  
東京大学大学院修士課程（社会基盤工学専攻）修了  
鳥取県庁職員、システム開発会社（SE、PMとして）勤務  
衆議院議員 赤沢亮正 公設秘書（秘書歴15年）  
米子市在住（妻・長男・長女）



河上定弘  
公式LINE

河上定弘 🔍 検索

